

「瀬々串小学校の瀬々串棒踊り伝承活動の取組」

| | | |
|-------------------------------------|---|--|
| 1. 学校名 | 鹿児島市立瀬々串小学校 | |
| 2. 学年・人数 | 5・6年 33名 | |
| 3. 日時・場所 | (1) 練習の日時・場所 令和7年7月～9月の運動会まで（計5回） 瀬々串小学校体育館 校区公民館 (2) 発表の日時・場所 令和7年9月28日（日） 瀬々串小学校 運動会 | |
| 4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について | (1) 名称 瀬々串棒踊り（せせくしぼうおどり） (2) 由来 起源は、江戸時代元禄2年（1690年）頃喜入を治めていた肝付久兼（5代）時代に始まったとされている。現在の棒踊りは明治初期に今村六郎さんによって改革かつ創作されたとされている。 (3) 構成等 三尺棒2人、六尺棒2人の4人1組で構成される。鬼の面を付けた心棒（神棒）を先頭に入場し、踊り子が踊っているまわりを心棒が囃し立て、棒で地つきをして豊作を祈願するための踊りである。 | |
| 5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等 | 棒踊りを継承していくために、練習計画を学校側で作成し、棒踊り保存会の皆さんに協力をもらいながら御指導していただいている。また、多くの保護者も本校卒業生であり、たくさんの方々の指導を受け子どもたちが伝統を引継ぐことができている。引き続き学校と地域が連携協力し伝承していける体制を整えていく。 | |
| 6. 取組の様子（練習状況、発表の場等） |  <p style="text-align: center;">運動会で披露</p> | |
| 7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等） | <p>【保存会・保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自分たちで教え合う姿が素晴らしかった。こうやって伝統が引き継がれていることが非常に嬉しい。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統の棒踊りを、保存会の方々から教わり、みんなで教え合いながら活動できた。伝統が続いてほしいと思う。 <p>【教員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬々串に伝わる棒踊りが代々引き継がれていることや、一緒に踊り披露することができていることが素晴らしい。郷土に誇りを持ち、子どもたちが大人になった時、また次の世代へ引継いでくれたらと思う。 | |